

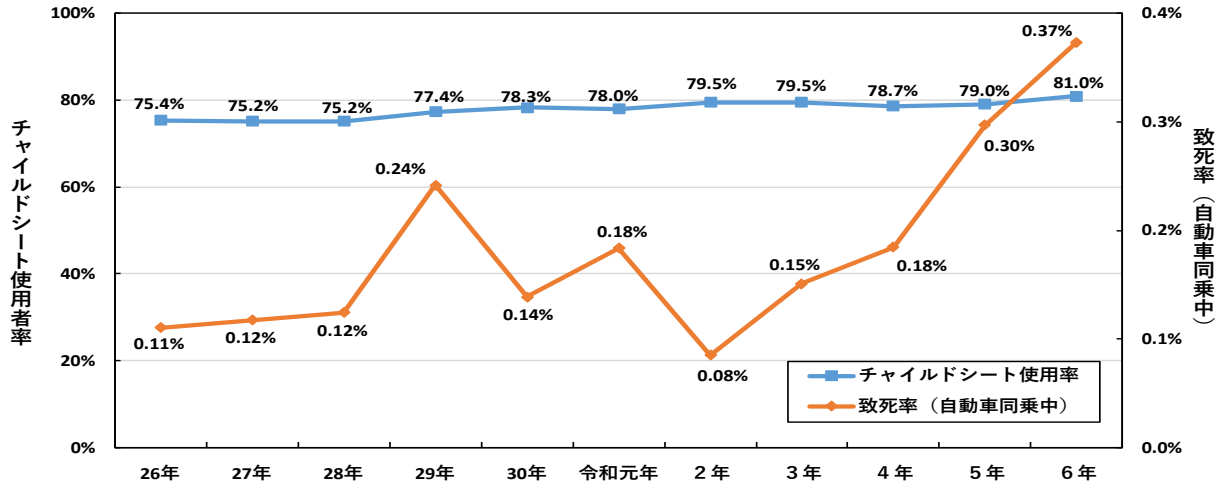
チャイルドシート関連統計

令和6年中のチャイルドシート使用者率（6歳未満幼児の自動車同乗中死傷者に占めるチャイルドシートを使用していた死傷者の割合）は81.0%であり、昨年と比較して2.0ポイント増加した。

過去5年（令和2年～令和6年）の6歳未満幼児の自動車同乗中のチャイルドシート使用有無別致死率をみると、適正使用者の0.10%に対して、不使用者は約4.7倍※の0.49%であり、チャイルドシートの適正な使用が交通事故による被害軽減に大きく寄与していることが認められる。

※致死率を比較した倍率は、少数点第3位以下も含めて算出している。

○ 自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用率及び致死率の推移（各年12月末）



○ 自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用有無別死傷者の推移（各年12月末）

		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減数	増減率	指数
チャイルドシート使用	死者数	3	1	1	7	6	6	2	2	1	7	6	-1	-14.3	200
	負傷者数	6,153	5,758	5,448	5,116	4,502	3,816	2,805	2,628	2,556	2,652	2,379	-273	-10.3	39
チャイルドシート不使用	死者数	6	8	8	9	2	3	1	2	4	3	5	2	66.7	83
	負傷者数	1,861	1,783	1,658	1,360	1,153	1,005	669	623	639	635	497	-138	-21.7	27
使用不明	死者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-	-
	負傷者数	143	111	134	127	96	69	53	52	48	67	59	-8	-11.9	41
計	死者数	9	9	9	16	8	9	3	5	6	10	11	1	10.0	122
	負傷者数	8,157	7,652	7,240	6,603	5,751	4,890	3,527	3,303	3,243	3,354	2,935	-419	-12.5	36
チャイルドシート使用者率		75.4	75.2	75.2	77.4	78.3	78.0	79.5	79.5	78.7	79.0	81.0	2.0P	-	107
致死率（自動車同乗中）		0.11	0.12	0.12	0.24	0.14	0.18	0.08	0.15	0.18	0.30	0.37	0.07P	-	339

注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

2 指数は、平成26年を100とした令和6年の値である。

3 チャイルドシート使用者率＝チャイルドシート使用死傷者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100

4 致死率＝死者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100

○ 自動車同乗中（6歳未満幼児）のチャイルドシート使用有無別致死率（令和2年～令和6年合計）

		死者数	負傷者数	死傷者数	致死率
チャイルドシート使用	適正使用	13	12,535	12,548	0.10
	不適正使用	5	485	490	1.02
	計	18	13,020	13,038	0.14
チャイルドシート不使用		15	3,063	3,078	0.49
使用不明		2	279	281	0.71
計		35	16,362	16,397	0.21

注1 「適正使用」とは、チャイルドシートが車両に適切に固定され、かつ、幼児等がチャイルドシートを適正に使用している場合をいう。

2 「不適正使用」とは、事故によりチャイルドシートがシートベルトから完全に分離している場合、幼児等がチャイルドシートから飛び出した場合等をいう。

3 致死率＝死者数（自動車同乗中）÷死傷者数（自動車同乗中）×100

約4.7倍